



THE JAPANESE SOCIETY OF CANTERBURY

H I
R O
G A
R I

カンタベリー
日本人会

ひろがり

2018年9月
100号

H I R O G A R I

会報『ひろがり』100号の発行について

会報「ひろがり」100号は、本来ならば1月末に発行される予定でしたが、発行体制に支障が生じたことで未発行となっております。このたび、体制を立て直し、新たな記事を追加して発行に至りました。1月発行予定だった記事には、内容に時期のずれが生じている場合がありますことをお詫びいたします。どうぞご了承ください。

I N D E X

ひろがり

2018年9月
100号

ひろがり 2018年9月【100号】

発行責任者: 黒田 恵美子

制作: K&J MEDIA

発行所: カンタベリー日本人会

301 Tuam Street, City Central

Christchurch, New Zealand

P 03-940-9495 E info@jsc.org.nz

W www.jsc.org.nz Facebook JSCNZ

カンタベリー日本人会では、本ニュースレター発行に際し、掲載される記事・広告は法律違反で無い事を条件としています。しかし、記事・広告の文章、文言、主張、意見は、筆者・広告主に属するもので、必ずしもカンタベリー日本人会のそれらとは一致しません。又、記事・広告を信じて取られた行動の結果 に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。掲載記事・写真・図画などの無断転載を禁じます。

新理事メンバーからのあいさつ	3
在クライストチャーチ領事事務所長より ／領事事務所便り	6
カンタベリー日本人会年次総会報告	8
「ジャパンデー」報告	10
旧会長からの励まし	12
Canterbury Japanese Choirより	16
カンタベリー補習授業校から	17
教えてNZカーライフ	19
シーズンタロット占い	21
NZトランピング記	22
アイデンティティーと国籍を思う	24
半径3kmのクライストチャーチ暮らし	28
ホケンの話	30
カンタベリー日本人会協賛会員一覧	34
前任理事のつぶやき	36

Greeting from New President

新会長のあいさつ

本年度、新たに会長を務めることになりました黒田恵美子と申します。
どうぞよろしくお願いたします。

2年前に理事を引退してから、暫くの間、理事会からは離れていましたが、今回の総会後に再度推薦していただき、今期の活動に参加させていただくことになりました。そして新メンバーの中で唯一理事経験があったこともあり、私が新会長として就任し、務める事となりました。儀式的なご挨拶はなるべく控えさせて頂き、若い会員の皆様へは、今ではすっかり古株で出不精の私の事を知る方は余り多くないと想像しますので、少し自己紹介も含め経緯を書かせていただきます。

クライストチャーチの補習校が設立されてから間もなく娘達が通い始め、数年後に保護者委員をするようになった頃のことでした。生徒数も100を超え、校長先生を派遣していただくように、色々な書類集めや申請の用意を始めていました。当時、運営委員長に就任されていたライト典子さんは、補習校や日本人会の事を自宅の部屋を書類で埋らせながら奔走されていました。ライトさんは、「学習会」というお母さんグループが子供達を集めて交代で行っていた勉強会を、子供達がかもって日本語教育を受けられる場としての補習校設立において尽力された中心人物で、他の役員さんと共に大きな力となっていた方でした。

運動会が無い頃には、日本人会を通して運動が得意な保護者が運動会を作るなど、やりたい気持ちか湧き上がって、一つひとつ出来上がっていきました。このように形になっていったのは、当時の人のつながりの強さもあってだろうと感じます。公的に何か設立しようとする時、「日本人会」という信頼度の高い団体が主催者としてあるいは後ろ盾になることで、実現する可能性が飛躍的に上がるのです。近年では、「ジャパンデー」という一大イベントも実行できるようになりました。日本人会は決して目立つ存在ではありませんが、一民族の窓口が存在することは、大変重要です。家で言うならば「玄関」のようなものです。玄関のない家はありませんよね。そしてニュージーランドの日本人の人口は余り多くないですし、小さなグループで別れてしまうより、いっそ力を合わせた方が絶対いい、そんな風に思います。

私自身は大阪市浪速区出身で、夜学の服飾からBeBe株式会社の企画部に就職し、その後フリーランスでパターン製作やデザインを専業とした、物を作る人生を送ってきた人間です。断言しますが、決して高学歴でもなく、千歩譲ってストリート・スマートなのですが、こんな私だからこそできることがあるかも知れない、と考えております。気兼ねせずに私に話し掛けてきてくださいね。色々な作業があり、速度は速く有りませんが、少しずつ他のコミュニティー団体や、アジアの団体と繋がっていったらと思います。どんなアイデアでもいいので、とにかく一度お聞かせくださいね。思い切り人手の足りないこの理事会。助っ人常時募集中です。いや、せめて励ましのお言葉や、差し入れのお菓子だけでも…全部嬉しいです。我々がアタフタしていたら、どうぞ呼び止めて励ましの一言を!これからもどうぞよろしくお願いたします!。

EMIKO KURODA

黒田 恵美子



RIKI OTAKI

大滝 リキ



この度、日本人会の副会長を務めさせていただく事になりました、大滝リキと申します。

NZに初めて来た1993年からスキー場での仕事を始めて、現在もそのまま続けています。ワークビザでNZに滞在していた数年間は、南半球と北半球を半年おきに行き来し、夏のない生活を10年以上続けていました。その後に永住権を取得して、NZの夏の時期には短期間で、北海道や外国人の多い地域でスキー場の仕事をしています。

今回、初めて役員として日本人会に関わらせていただくことになりました。仕事の関係上、NZに不在の期間や参加できないイベント等が多々ありますが、少しでも自分の経験を生かして、日本人会のお役にたてればと思っております。

日本人会がカジュアルな組織になりつつ、会員の皆様にとって親しみやすい会になればと思っております。よろしくお願いたします。

カンタベリー日本人会の理事が選任されました

去る6月30日の年次総会において、理事5名が新たに選任されました。また、その後の理事会において、会長に黒田恵美子氏、副会長に大滝リキ氏が選任されました。

会 長	黒田恵美子
副会長	大滝リキ
事務局	藤吉美佐子
会計部	ウィルソンめぐみ
行事担当	武井みつえ



Greetings from New Board Members

新理事メンバーのご挨拶

MEGUMI WILSON

ウィルソン めぐみ



日本人会の皆様、こんにちは。理事会メンバーのウィルソンめぐみです。東京都板橋区出身です。

1998年6月、ワーホリでCHCに到着してから6年間、ツアーガイドの仕事をしていました。当時、ツアーバスの運転手をしていた今の主人と知り合い、結婚。現在は10才の娘と家族3人+猫2匹で暮らしています。

今回、日本人会の存続の危機を知り、微力ながらお役に立てればと思い、理事メンバーとして務めさせていただくことになりました。主に、会計補佐とジャパンデーの運営を担当いたします。新理事メンバーと共に、楽しく親しみやすい理事会に、そして私自身も人脈と視野を広げていきたいと思っています。

趣味は猫、キャンプ、散歩、読書です。中学生の頃に鉄道の旅に目覚め、「鉄子」としてL特急の写真撮っていました。今でも地図や時刻表を見るのは大好きです♪ また、長野五輪のボランティアをしたことから、自称五輪オタクでもあります。共通の趣味をお持ちの方、お気軽に声を掛けてくださいね♪ 熱い思いを語りましょう!

新生理事会のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

MISAKO FUJIYOSHI

藤吉 美佐子



今年度から、新しく事務の仕事を受け持つことになりました。まだまだ未熟で何もわからない新米です。皆さんに助けられながら、出来る限りのことをしていきたいと思っています。

色々な変化があって、戸惑いもたくさんあると思います。ご迷惑をおかけすることもあると思います。それでも見捨てることなく、ご協力やご意見をどうぞよろしくお願いします。皆さんのアイデアをたくさん取り入れて、どんどん成長していける日本人会であれば嬉しいです。

MITSUE TAKEI

武井 みつえ



今回、若返った理事会に参加させていただくことになりました。スピード感にあふれた新しい理事会で、置いて行かれないように、息切れしながらも完走目指して頑張る所存でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

万人に受け入れてもらえる運営方法も、企画や行事もありません。また、5人だけでは限界もあります。でも、会員の方々にとって有益で楽しめる事を提供しようと考えている気持ちだけは、汲み取っていただけたら活動の励みになります。会員の方々と共有し、活動、行動していくことで繋がる仲間が、日本人会を作り上げていくように感じています。どうぞ日本人会に参加してください。

Greeting from Consular Office

着任の御挨拶

在クライストチャーチ領事事務所長

綱掛 太秀



■ 綱掛領事プロフィール

平成25年、新設の在南スーダン日本大使館に赴任。平成26年4月より在ジンバブエ大使館参事官。平成30年4月より現職。また、各国在動中は、1991年の湾岸戦争、2001年のNY同時多発テロ(9.11事件)、2003年のイラク戦争、2013年の南スーダン内戦、2017年のジンバブエ・クーデター等を現場で経験しており、各種緊急事態への対処については経験が豊富。

このたび在クライストチャーチ領事事務所長を拝命し、去る4月15日に前任地のジンバブエより転勤して参りました綱掛太秀と申します。クライストチャーチに領事として着任したからには、カンタベリー地域の在留邦人の皆様に、常に安全かつ安心して、一層快適な生活をおくって頂けるよう、領事事務所におけるサービスの拡充に誠心誠意努めて参りたいと思っておりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昭和50年10月にクライストチャーチに当事務所が在ニューージーランド日本国大使館の出張駐在官事務所として開設されてから、早いもので今年で43年目を迎えます。この43年間、日・ニューージーランド間にもさまざまな出来事がありましたし、就中、クライストチャーチにおいては、2011年の大地震で在留邦人の皆様にも多くの苦難があったものと承知しております。そうした中で、当事務所が今のように活動させていただくことができるのも、偏に変わらぬ温かい目で、当事務所を支えて下さった日本人会の皆様の御助力があったが故のものと理解しております。この場をお借りして、改めて日本人会の皆様に、心よりお礼申し上げます。

一方、ここで暮らす我々としては、常日頃よりニューージーランドの人々が日本や日本人に対して非常に強い信頼と親近感を抱いてくれているという事実を決して忘れてはなりません。特に、クライストチャーチを含めたカンタベリー地域においては、そのことがとても強く感じられます。たとえば、同地域の中・高等学校での外国語教育においては、依然として日本語の人気が高く、履修する学生数は、常に他の仏語や西語・中国語などのメジャーな言語よりも多いそうです。



Consular Office of Japan

of Japan

「ローマは一日にしてならず」と言いますが、このようにニュージーランドの人々が日本や日本人に対して強い信頼と親近感を抱いてくれるようになってきているのも、これまで長年に亘って当地で日頃から地道に良好な関係を構築されてきた先輩日本人方による、並々ならぬご努力があったからこそであろうと思います。そして、この状況を将来に向けて維持するためにも、我々はなお一層の努力を行っていく必要があります。他方、努力が重要といっても、個々の日本人が個別に努力しているだけでは、やはりその効果も限られたものになりかねません。ここでこそ、日本人会による一致団結が必要だと思われるところであり、皆で協力して、楽しみながら同じ目的に向かって努力することができれば、それこそ無限大の効果にもつながるのではないかと思います。

当領事事務所としまして、カンタベリー地域に在住される邦人の方々が、一層、安全にかつ安心して快適な生活を楽しんでいただけるよう、今後とも日本人会の皆様方とは緊密に手を取り合い、おもしろい企画を色々と立案して参る所存ですので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

在クライストチャーチ領事事務所便り

「在留届」の提出(登録)について

旅券法第16条により、外国に住所又は居所を定めて3か月以上滞在する日本人は、その住所又は居所を管轄する日本の大使館又は領事館(在外公館)に在留届を提出するよう義務付けられており、海外における大規模な事故・災害時において必要な支援や安全に関わる情報提供を行うための大変重要な資料となっています。これまでも累次に亘り在留届の提出(登録)をお願いしておりますが、既にご登録頂いている方も、その後の引っ越しや同居家族の追加などについて更新されていない方も少なくありません。日本での住民登録の有無に関係なく届け出ることが出来ますので、必ずご登録下さいませようお願い致します。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/to-doke/zairyu/index.html>

「たびレジ」への登録について

日本や現在の在留国以外に海外旅行や海外出張される皆様、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録されると、滞在先の最新の海外安全情報、また、いざという時の緊急連絡などを受け取れるシステムが「たびレジ」です。旅行先、出張先でのテロ、事故、地震等緊急時に最新の安全情報を旅先の現地在外公館から入手することができるため、NZから日本以外の外国に旅行、出張される場合には、「たびレジ」にご登録ください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

在クライストチャーチ領事事務所

Consular Office of Japan

12 Peterborough Street, Christchurch

電話：03-366-5680

Eメール(領事業務関係)：enquiry.chc@wl.mofa.go.jp

同(広報・文化業務関係)：cultural.chc@wl.mofa.go.jp

カンタベリー日本人会 年次総会報告

日時: 2018年6月30日

会場: アイラムスクールホール

(開始-13:10 / 終了-15:30)



<開会前>カンタベリージャパンデー2018のビデオを上映

1. 開会宣言 カンタベリー日本人会 理事 甚尾浩美

2. 会長挨拶 カンタベリー日本人会 会長 松崎一広

3. 来賓挨拶 在クライストチャーチ領事事務所 所長 綱掛太秀

4. 来賓挨拶 カンタベリー補習授業校 校長 荒井秀典

5. 成立宣言 会員数260人、議決権を有する出席者数48人。したがって定足数(会員の1割)を満たしました。欠席の届出は151人、そのうち議決権放棄が21人で、採決結果に従うが130人です。以上により、総会は有効に成立しました。

6. 議長確認と議事進行説明 会則より会長の松崎が議長を行う。議事の順番を変更し、初めに第三号議案の会則の改正を行い、即時発効を提案。これに対して、改正規則の即時発効は異例すぎるとの反対意見あり。議論の末「会則変更の即時発効を認めるか否か」を採決→賛成多数で可決。

7. 第三号議案 会則の改正 会員の規定、補習校団体会員の規定の新設、友好会員と協賛会員の権利拡大(一定の条件で議決権付与)。質問:補習校との間で了解されているのか→回答:事前に補習校運営理事会と協議し、補習校側が先に決定したもので、日本人会の規則改正待ちの状況。日本人会と補習校の双方で事務が軽減される効果を期待できる。採決→賛成多数で可決。即時発効。

8. 第一号議案 2017年度活動報告 質問:会報の発行の停滞について協賛会員への説明と補償はどうか?→2017年度の協賛会員は2018年度の会費を無償とし、メール通信やfacebookでの宣伝も活用することでご理解をお願いしたい。採決→賛成多数で承認。

9. 第二号議案 「2017年度会計報告、2018年度予算案」 予算案はオフィスの縮小・廃止を見込むため採決を四号議案の後に回し、まず会計報告(日本人会会計およびジャパンデー特別会計について説明。質問なし。採決→賛成多数で会計報告を承認。



在クライストチャーチ領事事務所
網掛太秀所長



総会全景



カンタベリー補習授業校
荒井秀典校長



総会後のお茶会

10. 第四号議案「オフィスの縮小または廃止について」 提案の趣旨説明の後に質疑応答。縮小か廃止か、その得失をめぐって活発な質疑応答あり。住所と連絡先を保持することは、ジャパンデーへの補助金をはじめ実益がある。一方、事務所を人に貼り付ける現状の維持は人的・金銭的な負担が大きいわりに実益に乏しい。採決→現状のオフィスを廃止し、現住所の保持と電話の転送が受けられるバーチャルサービスに移行することを賛成多数で可決。(なお、経過措置としてオフィス廃止は10月末を予定)

11. 第二号議案(続) 「2018年度予算案」 第四号議案の2018年度予算案について説明。本予算案は今年度だけの特例として、2018年度の会員更新を無償とする決定(会則により会費の決定権は理事会にある)も盛り込まれているため、会費収入を見込んでおらず8000ドル規模の赤字予算になる。(年会費無償の特例は、2011年の震災の際にした前例あり)。質疑:それで財政的に大丈夫なのか?→回答:繰り越し金の5万ドルから抛出するので活動に支障はない。10月以降はオフィスの廃止による経費削減効果も見込める。採決→賛成多数で2018年度予算案を承認。

12. 新年度の理事について 2018年度の理事は:
藤吉美佐子、ウィルソンめぐみ、大滝リキ、武井みつえ、黒田恵美子
以上5名(敬称略)が賛成多数で承認された。
* 武井氏と黒田氏には、総会後に理事就任の承諾をいただきました。

<以上で議事終了>

13. クラブ紹介 カンタベリージャパニーズクワイア、和太鼓クラブ巧(コンサート)

14. 退任理事の紹介 松崎、嶋崎、武井、甚尾、益山、パーカー、キャンベル、スミス

15. 懇談会 たくさんのお茶菓子とともに歓談。ジャパンデーお国自慢コーナーの募集以上のとおりカンタベリー日本人会2017年度総会を終了しました。

2018年度もよろしくお願いたします。不安もありますが、新しいことが始まる期待もあります。期待が大きくなるような日本人会をみなさんで作っていきましょう。



皆さまのおかげで、Japan Day 2018 を成功のうちに終わることができました。来賓の方々をはじめご来訪の皆様から、極めて好意的な感想をいただきました。天候にも恵まれ、大勢の方々にご来場いただき、にぎやかで楽しい雰囲気会場を満たしていました。実行委員の方々、スポンサーの方々、ボランティアの方々、ご来場いただいた皆様それぞれに改めて感謝を申し上げます。

今や市民のイベントとして定着し、高い評価をいただいているジャパンデーですが、これを生み育てた創成期メンバーの多くが様々な事情でいなくなりました。第1回の立ち上げからキーパーソンであり続けた武井さんも、今回をもってジャパンデーのイベント・マネージャーを降りました。これまでの献身的な貢献に感謝いたします。



ジャパデーは来年の実施に向けて、新たな実行委員会メンバーで動き出しています。約1万6千人を集める大規模なイベントの運営が、ごく少数の人の献身で成り立っているのが現状です。イベントを継続し運営するには、それを担う人が必要です。どうぞご協力をお願いします。

Japan Day 2018 at Glance

来場者数	16500人
出店数	65
出し物	35
ボランティア数	延べ166人
収入	\$59,487
支出	\$62,164

**今回の新規理事会体制のスタートにあたり、旧会長から激励文をいただきました。
会報掲載への許可をいただきましたので、掲載させていただきます**

カンタベリー日本人会
黒田会長様
理事の皆様

**カンタベリー日本人会新理事の皆さんへの激励と
日本人会設立の原点に還って**

カンタベリー日本人会がこの7月から新たに黒田会長を中心として、新理事にご就任された皆さんで会の運営を図って頂けることは、一人の会員として、また、1992年に日本人会発足に際して多大なご苦労とご指導とご支援を頂きました谷治(やじ)領事(数年前にお亡くなりになれましたが、)と共に、心から喜んでおります。

(中略)日本を出て、この地で暮らしていく皆にとってはニュージーランドの方々に仲良く受け入れて貰うことが何よりも大事なことであるとの認識の上に立ち、その為には、私達、在留日本人の身の周りの環境を良くしなければならない、という思いをもって、日本人会設立の目的を「日本・ニュージーランドの友好と親善の促進をはかる。」とした経緯があります。

1980年半ば以降は、ここクライストチャーチには世界中からの移民、難民が大勢住むようになり、数の上からは日本人は少数派になったくらいがありますが、在留邦人の皆さんがNZの人々の中へ入って行って、沢山のご親戚やお友達を作られ、また、NZの人々と一緒に活躍し、暮らしている姿と日々の言動等がNZ社会の中で好印象を受けるに至り、相当の評価を頂いて来たことは、皆さん一人ひとりの努力の証しであろうと、私は思っています。

(中略)もう、3年ほど前になりますか、「ジャパン・デー」を開催した後で、NZ政府機関の人権委員会から、「日本人会は日本の文化をただ見せるためにジャパン・デーを開催しているのではなく、日本の文化をNZの人々と共有しようと努力している。」との評価を頂き、表彰状を授与されました。このことは理事の皆さんもご承知の通りです。

日本人会が創設されて以来20数年を経て、NZの政府機関から初めてこのような表彰を頂いたことは、日本人会がこれまで長年に亘り、その目的に向って努力し、また実績を实らせつつあることが高く評価された賜物と思い、私も大変嬉しく思っています。

この様な名誉ある表彰を授与されたわけは、「ジャパン・デー」が開催されたからだけではなく、当地領事館が開館されて以来実施してきた広報文化活動を初め、当地で以前から日本とNZの友好と親善のためにご活躍下さってきた「NZ・ジャパン・ソサエティ」や「ジャパン・センター」や「生け花・インターナショナル」、「クライストチャーチ・倉敷市姉妹都市委員会」、そして、大阪に在ります「日本・NZ協会」などが長い間、日本とNZの友好と親善促進のために色々な事業(時には、数百人に余る文化使節団をクライストチャーチへ派遣して来たこともありました)、実行されて来た積み重ねにより、私達、在留邦人がこの地に住みやすくなる環境を整えてくれる大きな助けとなっていることを忘れてはならないと思っています。

(中略)日本人同胞の方々の中には、「日本人会は何のために在るのか?」、「日本人会には行ったらどんな特典があるのか?」、「日本語補習校には子供は通わせたいけど、日本人会には入りたくはない。」、「日本人会に入らなくても何ら支障はないよ!」と、言うような方々も多い様に聞き及びますが、日本人会を初め、その他の方々(勿論、NZ政府機関を初め、NZ社会の中でも、私達、移住者を受け入れるために大勢の方々が献身してくれています。)が日ごろから、上記に述べましたような活動をしてきていることの成果を此処に住む全ての同胞の皆さんが享受していることは認識すべきだろうと強く思っています。

この度、新たに日本人会理事を努めて下さる皆さんには、日頃大変お忙しい御身であることを押し、日本人会とこの地に住む日本人の皆さんのために、また、日本とNZの友好と親善の促進のために、ひと肌も二肌も脱いで、力を尽くして下さいを切にお願い申し上げます。

平成30年8月16日

カンタベリー日本人会前顧問、元会長
神谷岱劭(かみやたかよし)

カンタベリー日本人会
理事のみなさまへ

新理事のみなさまへ

2018・2019年度の理事就任おめでとうございます。カンタベリー地域の邦人へのご支援や地域社会へのご協力等ご尽力賜りありがとうございます。

さて、私、現在は北島の北端ケリケリというところに移住し、早14年目になりましたが、ここへ来る前はカンタベリー日本人会で12年ほど理事をしておりました。

FBでもカンタベリー日本人会の情報を目にする機会もあり、総会前には「将来を考える会」とかいうような座談会開催を知り、存続が危ぶまれているのか？と遠方ながら心配しておりましたが、皆様の熱意で、継続できるようになったと思いうれしく思いまして一筆差し上げる気になりました。

もう日本人会も早30年近い歴史になるかと思いますが、私が在籍したころもやはり人員不足や会員のみなさんの「関心不足、協力不足」という問題は常にあったように思います。

私は、第1回日本人会総会も仕事仲間て近所に住む、横浜中華街生まれで、中国人を両親に持つ友達に連れて行ってもらったのが「日本人会」でした。職場にはワーホリの人が多く、1992年の総会で集まった初めて会った日本人の多さにびっくりしたものです。

その後、1993年12月に「ひよこ丼」をスタートし、自分の娘が日本語しか話せない祖父母と遊べたらいいなあ〜っという思いから、その娘が5歳になるころには「補習学校」も創ろうと目標にし、理事になってからは、運動会をはじめ、サンタパレードにも参加、就学児童を持たない会員の皆様にむけては「PCセミナー」「ガーデニングツアー」「料理教室」などの開催や、お年寄り向けの「GOGO会」も始めたりしました。コーラス隊も今やカンタベリーの人々に素晴らしい歌声を届けていることを目にするのでうれしく思います。



新しくスタートする企画は、「生みの苦しみ」はあっても「前例がない」ので、自由にできて楽しく、いろんなことを学習できて、自分のためにも大いに役立ったと喜んでいきます。

日本人会創設当初はインターネットというものもなく、カンタベリー在住日本人も少なく、情報もなくという時代でGOGO会でも「情報あれこれ」というような冊子を作ったようなものでしたが、今はそういう必要もなく、PCさえあればNZ国中の情報がわかるような時代になっていますので、「日本人会」自体の在り方もきっと変化していることと思いますが、いわゆる公的な「市役所」のようなものの機能は持ち続け、継続させていかなくてはならないのでは、ということはお見ながらあります。

実際問題、下記に転記しましたように、外務省の「補習授業校の概要」というか設立条件等を見ましても、以下のような記載がありますし、さらには「在外教育施設」等も海外の日本人会が運営している国が数々あります。

また、NZサイドにおいても、多民族＆多文化でもあるカンタベリー地区、南島最大の都市クライストチャーチということで、政府の他民族を対象とした集まりや、他民族間の集まりも活発に行われ、そこからNZの政策、ルールといったことも検討してもらえる意見を言える場にも参加できます。

と、「なくてはならない組織」と言いたくて長文になってしまいましたが、とにかくにも「既成の組織」を継続するというのは大変なこととは思いますが、ニーズに対応するべくその形態も変更しつつも、カンタベリーの邦人や地域社会へのご支援をいただきますようよろしく願いいたします。

すべてのものを継続していかなくとも、会員からのサポートがもらえるものを第一にできるものからやっつけていけばいいのではないかと、とも思っています。

2018年8月16日
ライト 典子

文部科学省ウェブサイト(www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/002.htm)より転記

補習授業校の概要(出典: 存外教育施設の概要)

補習授業校は、現地の学校や国際学校(インターナショナルスクール)等に通学している日本人の子どもに対し、土曜日や放課後などを利用して国内の小学校又は中学校の一部の教科について日本語で授業を行う教育施設です。日本人学校と同様、現地の日本人会等が設置運営主体となっています。

昭和33(1958年)年に米国のワシントンに設立されて以来、平成27年4月15日現在では、世界52カ国・1地域に205校が設置されており、約2万人が学んでいます。このうち、一部は、授業時数や授業科目が日本人学校に準じているもの(いわゆる「準全日制補習授業校」)があります。

教育の特色としては、国語を中心に、施設によって算数(数学)、理科、社会などを加えた授業が、国内で使用されている教科書を用いて行われています。

CJC通信 **Canterbury
Japanese
Choir**



**歌うことが好きなあなた！
お待ちしております♡
メンバー募集中**

メンバーは、音楽を専門で学んだ人ばかりではなくて、中学・高校時代の音楽の授業で習っただけで、音符や記号も知らない~という人も多く、とにかく歌うことが大好きな人の集まりですから、お気軽にご参加くださいね♡ 唄うことって、気持ちいいですよ♡

- 毎週水曜日 10:00~12:00、
- Fendalton Community Centre
(168 Clyde Road, Fendalton)

ご見学希望の際は、事前にご連絡下さい。
Email: japanese-choir@googlegroups.com
Facebook: CanterburyJapanese Choir

Let's sing
with us

活動報告 ①

8月26日、クライストチャーチCBD主催のSINGFEST 2018に参加。フラッシュモブにも初挑戦! とても楽しいイベントでした。



活動報告 ②

8月21日に1カ所、29日には2カ所と、あちらこちらのRetirement Villageに招待していただき、唄いました。



大聖堂コンサート 2018

今年も大聖堂で歌います!
是非、お越し下さい。お待ちしております

日時: 12月3日(月)午後5:30
場所: カードボード大聖堂
住所: 234 Hereford Street





カンタベリー補習授業校より

From Canterbury Japanese Supplementary School



「震災の記憶」

衝撃的なニュースが飛び込んできました。7年前のクライストチャーチ大地震によって、カンタベリーテレビビル(CTVビル)が完全倒壊し、それによって富山の語学専門学校の生徒を含む115人の命が失われた事は、記憶に新しいところです。ニュースでは、検察はCTVビルの崩壊を起訴しないと決定したと言うのです。当時、私はこの現場の惨状を遠く日本から、大変申し訳ないですが、他人事様に見ていました。その1ヶ月後に東日本大震災が起り、卒業式間近での対応に追われていたため、ほとんど脳裏には残っていませんでした。ところが、その後、このクライストチャーチ地震で金沢市中学校のK先生のご子息が亡くなったと聞いてから、この地震が大変に身近なものに感じました。私の赴任がこのクライストチャーチにある学校だと決まった時には、すぐK先生の顔が浮かびました。K先生は教育委員会時代の直属の上司でもあり、中学校校長としても大変尊敬できる大先輩でもあります。この事故で知人がK先生宅にお伺いし、香典をお渡ししようとしたところ「わしの息子の遺体は出てきていない。息子は死んでないから香典なんてもらえない!」と突っ返されたという話を聞き、私もこの赴任の事を伝えようか大変迷いました。でも、K先生に黙ってニュージーランドに発つことは出来ませんでした。お会いして赴任の事を伝えたと、「よく話してくれた。有り難う。頑張ってきて!」と手を取って喜んでくれ、励ましてくれました。大変嬉しかった

です。その時に、倒壊したビルのこと、ニュージーランド政府の対応のこと、日本と違う事故補償のこと等々を聞きました。一番心に残っているのは、地震で倒壊したビルの下で、「しばらくは生きていた!」ということです。それをどうにかできなかったのかということに対して、自分を責めてどうにもならないけれど、何もしてやれなかった事が悔やんでも悔やみきれないと…。今日、初めて地震直後のCTVビル倒壊の写真を見ました。確かに他のビルは倒れていないのに、ここだけがペチャンコです。そしてこの時点で、ひょっとして息子さんはまだ…?! ニュースでは欠陥ビルを設計した会社や建設会社の責任は明白であるのに、彼等の責任によってこのような事態になったと証明できる法律がなかったと言っています。どういことでしょうか?完全に意味不明です。「問題は法律の欠陥である」と結論づけています。ならば法律を整備していなかったニュージーランド政府の責任ではないのかと…。全く釈然としません。今後どのようにっていくのか、詳しいことは分かりませんが、K先生やご遺族の気持ちを考えると言葉もありません。あれ以来、体調が優れないと伺っているK先生の奥様のことも…。



後日、日本の友人からK先生の談話が新聞に載ったと知らせがありました。

「無念だが、二度とこのようなことが起こらないように建築技術の向上を望みたい。志半ばの息子を失い、生きている以上は喪の途中だ、奥様は「現実を受け入れるしかない。心の整理がいたら、息子に報告したい」

改めて、慎んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。

カンタベリー補習授業校 荒井 秀典

16名の弁護士、23名の司法事務員、幅広い専門分野



KANNANGARA
THOMSON
Barristers & Solicitors

www.ktlaw.co.nz



Kannagara Thomson

弁護士事務所

Level 2, 575 Wairakei Road

日本語直通: 03 903 0108

携帯: 021 117 2472

メール: hiromi.jin'o@ktlaw.co.nz

甚尾 浩美

弁護士 法学士(NZ)
教育学士(日本)

不動産、ビジネス、イミグレーション、遺言書、財産管理、家庭法、
その他法律業務全般を日本語で承っております。お気軽にご相談ください。

初回無料

PURPLE DRAGON



Japanese Ramen Noodles & Dumplings
Mobile Shop



冷凍餃子販売 始めます!

Coming Soon...

www.purpledragon.co.nz

詳細は、Facebook・Twitter・Instagramにて。

KOHAN RESTAURANT

テカポ初春便り

Main St. Lake Tekapo

03-680-6688

いい雪に恵まれたスキー場もそろそろシーズンを終えテカポでも柳が芽吹き春の気配とはいえまだまだ寒くそんな中開発プロジェクトのひとつ新テカポキンダーガーデンが新築オープン(9月22日)しました。さらにいろいろな工事が進行中で来るたびに変わるこの町の変貌具合を観察するのもクライストチャーチの皆様にはいかがでしょうか。変わっていいものダメなものさまざまですが湖畔レストランのサーモン丼は24年なんの進化も退化もないシーラカンスでいいのかという疑問は常にあります。

湖畔レストラン
伊藤正人



KIWI TIME

www.kiwitime.org

雑誌「KIWI TIME (キウィタイム)」は、K&J MEDIAが毎月発行するビジネス系フリーペーパーです。ビジネスに関する情報やインタビュー、仕事の息抜きに読みたくなるコラムを満載。ニュージーランドで起業している方や起業をしようと考えている方を応援します。



New Zealand Classic
クラシックカー
 Imports Exports Classic Cars

教えて NZ カーライフ

こんにちは。ニュージーランドクラシックの村東みやこです。今までも、「車を売る手順」というタイトルでニューズレターを書かせて頂いたことがあります。最近でもよくご質問頂くので、復習がてら、今回の記事にアップしたいと思います。



BEFORE SELLING YOUR CAR... 自分の車を販売する前に

- 滞納しているライセンスフィーがあれば支払っておくこと
- ディーゼル車の場合、RUCは更新されていること
- WOFは更新してから引き渡し時までに1か月を経過していないこと

車の販売方法について

■ 個人売買サイトや雑誌を活用する。
 (TradeMe(英語), Buy&Sell Exchange(英語), NZ大好き(日本語)など)

■ ターナーズオークションへ出品する
 最寄りのターナーズオークションへ車を持っていき、車を査定してもらいます。その場で買い取りしてもらえる場合もありますが、オークション手数料を支払って、次回のオークションへ出品することも出来ます。

■ 中古車業者へ引き取ってもらう
 中古車の状態やモデルにもよりますが、即金で引き取ってもらえる場合があります。何軒か見積りを取って、良い金額を出してもらえる業者を選ぶのがミソです。

■ 車の解体業者や中古パーツ会社
 上の方法を試しても売れない場合や、条件が良くない車(古い、状態が悪い、距離高など)は車の解体業者や、中古パーツ会社で車両を引き取ってもらう方法もあります。

車の販売が完了したら

車両を手渡すときに、NZTA(NZ Transport Agency)に所有者変更連絡を済ませましょう。ターナーズオークションや中古車業者等に販売する際は、各業者が全ての手続きを済ませてくれる場合が殆どですが、特に個人売買で販売する場合は、セラーとバイヤー立会いのもとこの手続きを行うと安心です。この手続きを怠ってしまうと、新オーナーの

- スピード違反金
- 駐車違反金
- ライセンスフィー滞納金
- WOF切れによる違反金等

が請求されるだけでなく、届け出をしなかった罰金(個人だと1000ドル、会社だと5000ドルまで)が請求される可能性があります。要注意です。

**この記事やサービス
 についてのご質問・
 お問い合わせはこちらから**

ニュージーランドクラシック

村東 みやこ
 2006年より、クライストチャーチにて中古車・クラシックカーの輸出入と、修理・サービス・車検(WOF)を承っております。
 【連絡先】 info@nz-classic.com
 【事務所】 9-11 Waller Terrace, Christchurch Central.



KINJI
Japanese Restaurant

旬の食材をおすすめのメニューとして
ご用意しています。
楽しい食事、笑顔、そして復興へ...

皆様の御予約、御来店お待ちしております。

営業時間 月曜～土曜 17:30～
日曜、祝日定休

Tel. 03-359-4697
279b Greers Road(off Wairakei Rd)



日本人弁護士

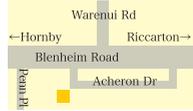
高岡 倫子 | カンタベリー大学卒業
Michiko Takaoka | Solicitor

不動産、ビジネス、家庭法、トラスト、移民、無料遺言書作成、
その他法律業務、初回のカウンセリングは無料で承っております。
お気軽にご相談ください。

® **CURRIE**
LAWYERS
www.currielawyers.co.nz



Level 1, Unit 1- 46 Acheron Drive
PO BOX 8261 Riccarton, Christchurch 8440
michiko.takaoka@currielawyers.co.nz
TEL: 03 348 8823 FAX: 03 348 9432



SHS TAX ACCOUNTING LTD 日本語でサポート致します

ATAINZ (ニュージーランド会計士税理士協会) 所属

- ・各種税務申告 (法人税、所得税、GST等)
- ・会社設立やビジネスの売買のサポート

お気軽にご相談ください。初回ご相談無料

151 Clyde Road, Fendalton, Christchurch
日本語直通 027 933 1140 / Tel: 03 351 6949
E-mail: minori@shs.org.nz Web: www.shs.org.nz



名古 みのり
アカウントマネージャー



クライストチャーチ市内、近郊の不動産のことなら...
地元精通した私たちがご案内します。
電話: 342 5577 / Eメール: kazushimazaki0213@gmail.com

JEANETTE ← カンタベリー出身
ジャネット・シマザキ 携帯: 027 2727 808

KAZU ← クライストチャーチ在住20年
嶋崎かずのり 携帯: 021 2727 808

Ray White rwmetro.co.nz

Tramping in NZ

NZトランピング記

本間良徳 | 東京在住。2005年より主にトランピングを目的として、ロングステイ開始。
トランパー | クライストチャーチを拠点にNZ 全土で100ヶ所以上のコースを踏破。

第30回 アバランチピーク

アースーズパスの数あるTrampingコースのうちで最もポピュラーな一つがアバランチピークである。その理由として通常アースーズパスの中で山頂に登れる山は少ない中、ピークのある事が挙げられる。しかし、森林限界近くまではTrackになっているが、その上はルートなので天候のチェックが必要。また健脚向きコースとも云える。



■Scotts Track より Mt Rolleston 2271m

ビレッジより73号線を北に10分程歩くと登山口Scotts Trackの標識がある。ここからTrackとなる。最初は緩やかな森林斜面を登るが間もなく73号線を隔ててテンブルベイスンやDevils Punchbowl Fallsなどが見えて来る。また73号線路上からも見える秀麗な山Mt Rollestonが北側にずうっと望める。そしてMt Cookリリーが12月には満開となりScottsTrackの大半の部分でお花畑となって現れる。

花に見とれて歩くうちにやがて尾根も険しくなり越えても越えても大きな岩場が続く。

進行右斜面は崖となっているので要注意。尾根の両側が崖となった近くまで来ると窪地にAvalanche Peak Trackとの分岐がある。さらに注意の必要な尾根を進むと山頂が現れる。



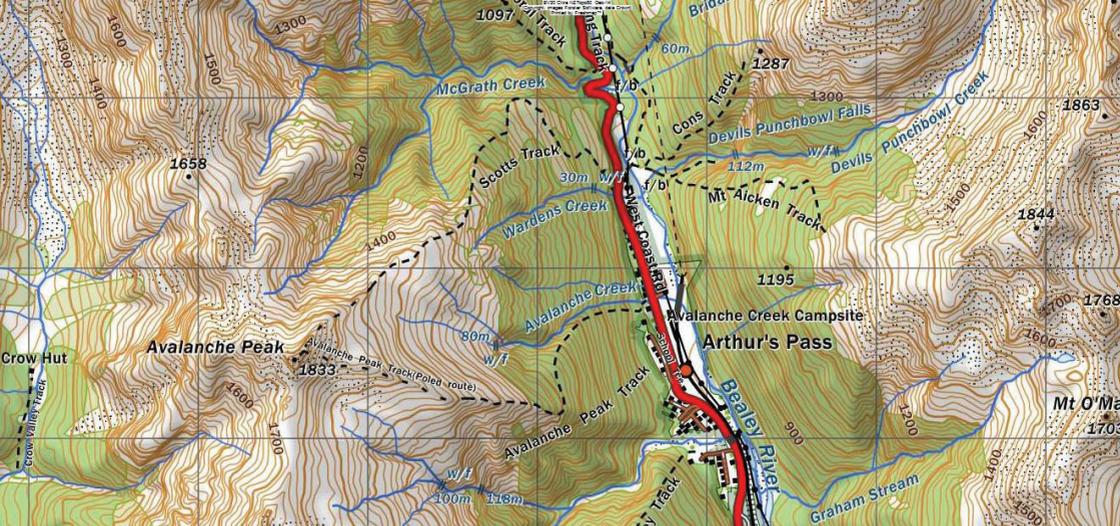
■Avalanche Peak 1833m

この日は天気が良かった上、風もなく登山者で賑わっていた。山頂は狭くすぐ崖となっているので写真には足元要注意。



■Avalanche Peak Trackより山頂

山頂で景色を堪能したら分岐まで戻りAvalanche Peak Trackを尾根伝いに下る。Trackの登り下り共ポールが目安。下りのTrackには殆どお花畑はなく対岸の山々を眺めながらの道となる。滝の近くまで来たら崖も多くなるので注意が必要だ。特に二股になっている所では進行右の斜面へ進む事。やがてTrackの標識があり左に進むとビレッジにある教会横に出てフィニッシュとなる。



コースタイム

- 片道7時間(逆コースでも同じタイム)

Scotts Track登山口 ~ Avalanche Peak ~ Avalanche Peak Track 下山口

4hours

3hours

行き方

- クライストチャーチよりスプリングフィールドを経由して73号線を北上すると約2時間でアーサーズパスに着く。

【アバランチピークの思い出】

ニュージーランド2回目の時、念願のミルフォードトラックに行った。テナウに日本人ガイド会社コロミコトレックがあった30年も前。社長にアーサーズパスでどこに登ったら良いか尋ねた所、アバランチピークだと。そこでクライストチャーチより泊二日でレンタカーを借り、ビーリーホテル一泊。翌日DOCの駐車場に行く。雨で行くかやめるか1時間迷った上でスコッツTrackより登った。雨で回りが何も見えないままポールを目印にただ登るのみ。山頂に着いたのは分かったが下山は山頂から別の道と勘違いして安易に進みやすい平らに近い稜線を進んでしまった。これが間違いだと気づいたのは1時間位進んだ先には進めない崖だった。同じ稜線に戻るには登り返しとなるので雪の緩斜面を来た方向に行くとポールが見

えてきたので、これが下りのアバランチピークTrackだと分かった。分岐でもう一つの下山ルートのパールも見えず、山頂でも近くしか見えず安易に考え過ぎていた。年始の季節だったが残雪は多く上部の大半は雪だった。今回は12月半ばでも殆ど残雪はなくほんの僅かだった。

アーサーズパスには数限りなく行ったが、これが心の片隅にあったのかずうっと避けていた。アーサーズパスにはウォーキングコースレベルから難易度が高いルートまでたくさんあり何回行っても楽しめる。DOCのアドバイスがしっかりしているので頼れる存在である。

South Island TOPO 50 MAP ナンバー、名BV
20 Oтира

アイデンティティと 国籍を思う

カスオ・イングロさんのノーベル文学賞授賞に寄せて

ニュージーランド治安判事
カンタベリー日本人会元会長・顧問
神谷 岱劭

AMERIC
ASIA A

私が偶々日本に滞在中であった2017年9月の頃、或る政治家の国籍問題、政治資金の不正使用や不倫疑惑等々の不祥事が相次いで起きました。また、或る自動車製造会社における完成車の最終的な検査が無資格者によって行われてきたこと、更に、或る製鋼会社ではアルミニウムや銅製品の一部で強度や寸法などの性能データを改ざんした製品が長年に亘って契約企業に納品されてきたこと等が公表されました。日本國を担うべきリーダーたる政治家や日本の基幹産業であり世界に誇る技術を持った一流大会社の不正直さと不誠実さに、「何やってるんだ!」、「日本人として恥かしくないのか!」と呆れ果て、嘆き、怒る、暗澹たる黒雲が日本國中に覆い被さっている世相を呈していました。

この様に日本國中の人々が暗い気持ちの中に沈み込んで日々を過ごしていた時、2017年のノーベル賞の発表の日が近くなったというので、新聞やテレビでは物理学、化学、生理学及び文学の各分野で世界的に高い評価をされている方々が授賞候補者として取りざたされて、「四年連続して日本人が授与されるかなあ。」と、暗雲を晴らしてくれる光明を仄かに期待する声の流れてきました。...

日本人が最も多く受賞して期待が大きかった物理学賞から選に漏れ、生理学・医学賞、そして、化学賞にも日本人の名前が無かったので、「ああっ、残念!」という落胆の気持ちが広がったところへ、...

10月5日、スエーデン・アカデミーは2017年のノーベル文学賞を、日本生まれで英国籍の作家、カズオ・イシグロ(石黒一雄)さんに授与すると発表しました。

その日の夜にはテレビは速報を流し、新聞各社は号外を出して街行く人々に配しました。そして、その翌朝、10月6日付の新聞各社の朝刊は一面トップ、文化欄、社会面に大

きな紙面を割り、カラー写真を各ページに添えて、まるでお花畑を見るかのようにイシグロさんの授賞を称える記事を満載して日本國中に明るい話題を届けて行きました。

一例として、10月6日付けの読売新聞朝刊の紙面に掲載された(各欄写真入り)見出しを紹介しますと、一面トップ記事は「ノーベル賞」「カズオ・イシグロ氏文学賞」「長崎出身英作家“日の名残り”」。そして文化欄には「カズオ・イシグロ作品の魅力座談会」、「世界文学最前線の作家」。更に社会面では「故郷の長崎歓喜」「幼稚園担任”夢みたい”と、別蘭にも”幻想”に社会を映す」、「村上春樹さんに学んだ」と、各ページは授賞の喜びが咲き乱れた様な扱いでした。更に、各社とも翌日には社説で授賞の理由や石黒さんの生い立ち、作品の紹介と一緒に石黒さんの喜びの声などが掲載されました。

ここで、スエーデン・アカデミーが発表した授賞の理由とイシグロさんの生い立ちを拾って見ますと・・・。

【授賞の理由は】

感情に強く訴える小説で、世界と繋がっているという我々の幻想の下に隠された闇を明るみに出した。

【イシグロさんの生い立ち】

長崎市生まれ、長崎海洋気象台に勤務していた父親(研究者)が英国の研究所に赴任する際に両親に連れられて5歳で英国へ渡った。1983年に英国籍を取得し、ケント大学で英文学や哲学、イーストアングリア大学では文芸創作を学ぶ。作品は全て英語で執筆されている。現在62歳。

他方、巷では・・・私の友人がイシグロさん授賞発表の翌朝に神戸の本屋さんへ行ったら、その店の経営者は、イシグロさんの授賞が報じられた直後の夜中に店へ出てイシグロ作品の特別陳列コーナーを準備して、今朝開店したら20分足らずで全部売り切れてしまった、と謂われたそうです。その後のお客様からは注文を取るといので、私も2冊ほどの注文をお願いしたのですが、未だ1冊しか手に入りません。

さて、祖国を遥かに離れてここニュージーランドで暮らしている私達は、子供や孫たちが将来歩んで行くであろう道程を思う時、それは石黒一雄さん(以下は漢字名で書きます。)が歩まれた道程と重なり合う点も多いのではないかと思います。

石黒さんは授賞の知らせを受けて、「自分の中には常に日本があります。ものの見方や世界観、芸術感性の大部分は日本人だと思えます。」と述べています。

石黒さんは長崎で生まれ5歳まで長崎で育ち、そこで英国へ渡ってからは何十年も日本へ帰ったことはなく、英語で教育を受け、その文化の中で成長していきました。しかし、まだ幼かった子供心の中には既に日本人が持つ特有の心が生れ、そして育っていったと謂えます。その要因は、両親が日本人であることでしょうか、例えお父さんかお母さんのどちらか一方が日本人である、所謂「ハーフ」の子供であっても、また日本人特有の心をもって生まれてくるものと私は思っています。皆さんも我が子を見る時、私達の子供は(日本で生まれた子もまた)ニュージーランドで育ち、英語圏文化を学んで成長していきますが、「日本人の心」が消されてしまうことがないことに気付かれているのではないのでしょうか。

私が領事館勤務時には「教科書の無償配布は永住者で帰国の意思がない子女は支給対

象としない。」旨の決まりがありました。当時の領事に、「例え両親は“永住”で住んでいても、その子供達は行く末何処へ向いて行くかは分かりません。将来帰国の意思があるということが確認できた方には教科書の無償支給の対象にしても宜しいでしょうか。」とご相談しましたら、「それで良いよ。」と言って下さいました。

つい二、三年前のこと、日本語補習校の関係者に「海外在住の日本人の子供達にも無償の教科書が受けられると良いのですが・・・」とお話をしたら、「日本語補習校に通っている子供達はみんな貰っていますよ。」という返事が返ってきました。私は「そういう事ではないんですよ。」と言いたい言葉を飲み込んだことを思い出しました。

もう一つ例を挙げますと;私が一昔前に日本語補習校に奉仕していた時のこと、ひとりのお母さんから「私の子供は自分のアイデンティティーが“日本人なのか”、“NZ人なのか”分からないよ、と言って悩んでいる様子ですが・・・。」というご相談を受けたことがあります。その時、私は「二つあることはなお良いのではないのでしょうか。日本もNZも世界の中の島国ですが、これからの地球は益々小さくなって、世界中の人々が混住する世の中になって行くでしょう。その様な世界では、何処でもでも通用する人間が必要となって来ると思えますよ。」とお話したことがありました。

読売新聞の社説は、「イシグロ作品の根底にあるのは、日英の情感の融合だろう。移住先で現地の言語を用いて優れた作品を世に送り出す作家が目立つようになった。イシグロ氏の授賞はグローバル時代における文学の新たな可能性を感じさせてくれる。」と述べています。そして、イシグロさんの著書「遠い山並み(Pale View of Hills)」(1982年)は日本に対する思いが滲み出る作品である。また、「浮世絵の画家(An Artist of the Floating

Word)」(1986年)も日本を舞台にした作品で、「イシグロさんは”薄れゆく日本の記憶を書き留めたかったのです”と語っています。

因みに、ノーベル賞授賞作「日の名残り」の英語題名は「The Remains of the Day」で、この作品は英国の権威あるブッカー賞を受賞していますが、日本の英語専門家は、「イシグロ作品は英文学独特の難しい英語を使わない様に、また、多国語に翻訳が容易に出来るように配慮されて書かれているかのように、英語原語版は大変読みやすい。」と評価しています。

私は、この様なところにも石黒さんの日本人の心、即ち、他に対しての心配りが込められていると思います。

ここで、ちょっと視点を変えて見ますと、・・・石黒さんのご両親は日本人です。その子である石黒一雄さんは純然たる日本人に何ら変わりがありません。我が国の国籍法(第11条)によりますと、「日本国民は、自己の志望によって外国の国籍を取得したときは、日本国籍を失う。」と定められていることで国籍が英国になりましたが、社会的に何故「日系人カズオ・イシグロ(石黒一雄)」になるのかなあ?という思いをふっと抱きました。

日本とニュージーランド間を例として私の思いを少しだけ述べますと、・・・

私が初めて船でニュージーランドへ来た当時は、日本まで直航で19日間も掛かった航海もありました。そして、1974年に家族を伴って初めて飛行機で来た時はシドニー経由でした。日本からの直行便が初めて乗り入れて来た1980年当初はナンディー経由で13時間余りも乗ったでしょうか。それから年月を経て、先般日本から戻ってきた時の飛行機はたった10時間5分で飛んで来ました。地球はどんどん小さくなって行きます。そして、その昔は

ひとと財産が吹っ飛んでしまう程に高かった航空賃が、昨日は往復NZ\$780(6.2千余り)で売られ出したとTVで宣伝していました。

この様な現状を思えば、「永住」とは、「ニュージーランドに無期限に住んでも良い。」と謂う許可であって、その許可を与えられた人が必ずしも「永住者」であるとする概念は既に崩れて来ています。現に「永住」する積りで住んでいた同胞が既に帰国してしまった例も沢山あります。即ち、「永住」とは、長長期の滞在者であって、「誰でも、何時でも、何処へでも行ける。」時代になって来たと言えらると思っています。

この様な時代になった今日、日本では大相撲、陸上競技、野球界や芸能界等々広く、(所謂)「ハーフ」の子供達の大活躍が目ざされておられ、また、沢山の外国人が日本社会の中で活動していることはご存知の通りです。

(因みに、片親を外国人とする子供のことを日本では「ハーフ」と言いますが、ニュージーランドでは一般的に、“My mother is Japanese and my father is New Zealander”とか“My farther is Japanese” 或は“My mother is Japanese.”と言います。)

ニュージーランドで育っている私達の子供達は日本語を十分に解せないかも知れませんが、「この子供達は行く末何処へ向いて行くかは分かりません。」 今一度石黒さんの言葉を胸にして、子供達のこれからの成長を応援し、期待したいと思っています。

「自分の中には常に日本があります。ものの見方や世界観、芸術感性の大部分は日本人だと思います。」

<了>



この国では、救急車を呼ぶとお金がかかる…ということとは、わりとみなさんご存知なのではないでしょうか。でも意外と「そうなんだー、日本はタダなのになー」で話が終わっていて、実際にいくらかかるかなんて知らなかったりします。その額、98ドルです。非居住者の場合はなんと800ドルだそうで、保険に入っていなかったら大変!…あっ、別にこれからわたし自身が救急車で運ばれた話を書くわけではないので、ご安心ください。しかし、なぜわたしのごとき世情にイマイチ疎い者がこういう話を書いている

のか?それは昨年、PEETOというクライストチャーチの国際文化交流機関が主催する「ニュージーランド文化理解講座」を、通訳としてお手伝いしたからなのでした。この講座は週1回、10週間にわたり、ニュージーランドで暮らしていく上で役に立つ様々なトピックについて学ぶというものでした。トピックは、教育、医療、福祉、政治、法律相談など多岐におよび、それぞれの分野の専門家が講師として詳しい講義を行います。たとえば冒頭の救急車の話は、St John (ニュージーランドの救急医療サービスを担う公益団体)の救急隊員の方が講師として呼ばれた回に聞きました。当然講義は英語ですが、対象者は中国、韓国、日本からの移住者ということで、三ヶ国それぞれのクラスに通訳がつき、英語がわからなくても気軽に参加できる…というありがたきものでもありました。受講者のみなさんは、通訳など不要な長期居住者の方もいれば、通訳付きの方が理解が深まって助かる、という方までいろいろでした。移住者の暮らしに役立つ情報を提供したいと、無料で参加できる講座を主催してくださったPEETOの方々、そして日本人会の連携で今回の講座は開講に至りました。

さて、改めて勉強するニュージーランドの文化的背景と生活に役立つ知識とは…そんなのは、長く住んでいれば知っていて当たり前なんじゃないの?などと思ったら大まちがいのでした。その上で、すべてを日本語に訳すとなるとまた大変。最新情報を得るといふことは、受講者の人たちの反応は「へえ～そんな言葉、初めて聞いた～」といいわけですが、こちらはそうもいかないです。しかも事前に知らされているのは講義のテーマだけで、内容は当日にならないとわかりません。このぶっつけ本番があまりにおそろしくて、にわかに猛勉強モードになる自分がいました。本当なら勉強は、その講座ですればいいし、わからないことは質問すればいいのです。でもそれじゃ訳の方は間に合わない…だいたい、英語でならしよっちゅう聞く言葉でも日本語訳なんか意識もしていない言葉が多すぎました。それで講座の前日は「教育」なら「教育」、「救急医療」なら「救急医療」などのテーマに従って、今まで開いたこともないウェブサイトに行って記事を読みまくったり、日本語ではどんな訳語があげられているか調べたり…まさに一夜漬けみたいなのところもありましたが、これで当日「ふええ、今なんの話だろ…」とろうたえたり、訳語がスッと出てこなくて金魚みたいに口だけパクパクしたり(ほんとにあった怖い現象)ということも少なくなくてすみません。必死の予習も「ヤマ」が当たったところもあればまるっきりハズレのところもあり、逆にかまえないで自分も素直に講座を受ける一員となることで新しく得た知識も多く…期間中は脳ミソの働きがはげしくなって、自分でも焦りました。

半徑3KMの クライストチャーチ暮らし 楽しく学べる文化講座で、 なんだかちょっと苦しんだ自分…の話

しかし、ひと口に移民にとって役立つ「文化理解講座」といっても、それぞれの人の立場によって必要な情報はちがってくるな…とも思いました。PEETOはどちらかというと、ニュージーランドに移り住んだばかりの人たちの支援を中心に行っている団体なので、こういった講座のトピックには「赤ちゃんが生まれたり利用できるプランケットのサービス」なども網羅されていました。そうすると、たとえば日本人ですでに長い間ここに住んでいる受講者の場合、子育てがこれから始まるような方は少なかったりしました。それで、思わず前もって講座のコーディネーターに「もしかしらこの情報はそれほど重要ではないかもしれない」と相談してみたのです。すると「日本人のみなさんはそうなんですな〜。中国、韓国語バージョンのクラスでは『もうすぐ孫が生まれるからさっと役に立ちます』と喜んで下さる方も結構いたんですよ」という返事が返ってきました。つまり今の時点では、中国、韓国からの移民の方々、日本人より上の世代の人が多めなのかもしれないと思いました。もしや、親世代を呼び寄せて住んでいる人も多いとか？そんなちがいも感じました。時には世代や、移民となった個人の事情により、悩み事もちがってくる。逆にこういったことを勉強したくても、平日の午前中の受講は難しい人もいます。

も ちろん、中には外国から来た移民であれば、来たばかりだろうが何十年と住んでいようが直面する可能性が大ありかも、というトピックもありました。たとえば家族と離れて異国に一人、夢いっぱいやって来たはずが、思いどおりの暮らしができずにうつになってしまったら？その講義などは、実際に心身の健康が失われていく具体例から話がはじまって、力になってくれる医療機関や相談の手立てがあることがしっかりと説明されていました。ところが、元氣そのものだった人が病気になるくだりのエピソードが妙に身につまされるものだったため、みんな聞いているだけでドンヨリとなってしまい「もうそこがツライのは全員分かります。早いとこ解決方法と相談窓口の話にいつもらえませんか？」と講師の方に思わず訴えてしまう場面も…。あまりお世話にはなりたくないけれど、いざという時に頼れるところはたくさんある。大事なのはそこだったのですが。

白 分としては同じテーマの講座に関わるのは二度目でした。でも、前回お手伝いしたのはなんと2004年で、もう十数年も前だったのです。今回改めていろいろなことを調べ直してみると、今は日本語で受けられるサービスそのものが増えているのが驚きでした。警察や政府観光局のウェブサイトも日本語が選べたり、エスニック・コミュニティのサイトに行けば、ランゲージ・ラインという日本語で話せる電話の生活相談の案内もあります。時間は限られるものの、困ったことがあったらまずここに電話をすれば日本語で相談して日本語でアドバイスが受けられます。それぞれの分野の専門機関の紹介もしてくれるので便利そうですね。たしか、2004年の当時も、ランゲージ・ラインはすでに存在していました。しかし、ために電話をするとオーストラリアの日本語通訳者につながったりして(どういう仕組みなのか、日本語通訳者であることの方が優先されたようです)、便利なのかどうなのか謎なところも多かったのです。今はシステムが整って、必要な時に最新の情報を得ようと思えばそれが可能だということです。言葉の心配も以前ほどなくてよくなりました…移住の条件の英語力はすごく厳しいのに、一度入って来たらいたるところで「日本語サービスもありますよ〜」と言われるのが不思議ですが、せいかくですもの、活用しましょう。でも、通訳が勉強不足だったらそもそもダメかと…これからも甘えないで勉強もちゃんとしないと、と実感した10週間でもありました。

既往症と PRE EXISTING CONDITION

今回は保険でよく耳にするPre Existing Condition(PEC)のハナシ。

PECは日本語でよく既往症と訳され、基本的に保険の対象外(Exclusion)になりますが、日本でいう既往症/既往歴よりも幅広い意味を含んでいる場合があります。

すでに治った病気

PECは既往歴(過去の病歴)を含んでいます。たとえ完治して、再発の恐れがほとんどないとしてもPECに含まれ、直接的なその病気や怪我・症状だけでなく、それに伴う間接的な症状もPECとしてとらえ、保障の対象外になることもあります。一方で、完治した病気は保障の対象になることもあるので、加入時に確認するといえると思います。

現在医師にかかっている病気

現在治療を受けているものはPECに含まれ、治療中に保険に入ってもそれが対象になることは、ほぼあり得ません。

医者には見てもらっていないが何らかの症状が出ている

PECは診断された病気(Diagnosis)だけでなく、症状(Symptom)も含むことが一般的です。このため、医師に見てもらってなくても、すでに症状が出ている、また過去にあった症状はPECとして捉えて、保険の対象外になることが多くなっています。

この点は、誤解されている方が非常に多いようです。何かの症状があり、心配だから保険に入っても、その症状に保険を使うことは出来ません。例え隠して加入したとしても、保険請求時には医師からのカルテ(Medical information/notes)が必須になるので分かってしまいます。

普通、治療を受けるときには医師から「いつからその症状があるのか?」と聞かれて答えると、それをカルテに記載するので、加入前から症状があったことが明らかになります。もしここで医師に間違ったことを言えば、正しい診断ができないことになりかねません。

どんな保険でも?

ニュージーランドで加入する医療保険を含んだ生命保険だけでなく、留学生保険やビジター・ワーホリ用の保険も基本的には同じです。何か起きてから保険に入っても、意味がありません。健康なうちに保険を検討することが、賢明な方法です。十分ご注意ください。

この記事はできるだけ正確を期すように心掛けていますが、あくまで一般的なガイドラインです。詳しくは最寄りの保険アドバイザーにご確認ください。

もしもに備え賢くご利用

保険は未来を守ります。

医療保険、生命保険、疾病保険など、
ご相談、プランニングは無料です。
お気軽にお問い合わせ下さい。



AIA Financial Services Network Ltd
保険アドバイザー 新田直人



NZ国内どこからでも
フリーダイヤル **0800-664-882**

携帯: 027-230-4984 / e-mail: naotonitta@gmail.com

パソコンでお困りですか？

トラブル診断、お見積もりは無料です。
お気軽にお問い合わせください。

パソコン・スマートフォン・タブレットの
トラブル解決・操作指導・修理を
1時間\$20より承ります。



- ✓ PC・スマホ・タブレットの
日本語化・日本語入力設定
- ✓ 操作指導・各種設定など
日本語で分かりやすく説明します
- ✓ 定期検診、最新情報に更新、購入のサポート
- ✓ 大切な写真・ビデオファイルのバックアップ
- ✓ テレビなど家電やプリンター等機器の設置代行
- ✓ 動画ファイルの効率的な探し方
- ✓ あんしん遠隔サポート(出張費不要)

Hiroshi Ozaki / IT Pro NZ

☎ 0278 111 694

✉ info@itpronz.com

🌐 www.itpronz.com

Harcourts

SINCE 1888

HOLMWOOD REAL ESTATE LTD

MREINZ

A MEMBER OF THE
HARCOURTS GROUP



**クライストチャーチの
不動産は
西田涼子におまかせ!!**

電話: 03-355-6677

携帯: 027-416-0230

Email: ryonz@xtra.co.nz
(日本語対応)

『不動産を購入したいけれどいい物件が見つからない』
『物件を売却したいが現在の相場が知りたい』
『投資物件を購入したい』などなど、不動産に関すること
でしたらなんでも相談してください。

大好評のシンプルリッチ生活ニュースレターは、毎月発行
されています。ご希望の方は郵送であるいはメール
でお送りいたしますので、ご
連絡ください。

New Zealand / Christchurch
シンプルリッチ生活

ウェブサイト: www.ryonz.com

ブログ: <http://ryonz.blog54.fc2.com/>

心のセラピー

落込みや孤独さを感じてもどうしていいかわからない方、
安心して心の内を話せる人がいない方、
ストレスを解消できない方、
生きがいが見つからない方、

無意識に感情を押さえていますか？

肉体的な疲れや病気のほとんどは心の状態から深く影響を
うけています。

困難に面した際、それを人間としての成長や癒しの機会に
つなげられたらいいと思いませんか？

意識的な呼吸法の指導によって自分で気づかずにいた潜
在意識を見直し、押された感情を解き放ちながら積極
的に心をケアしていくのがハートセラピー(心のセラピー)
です。

高久トモ Tomo Takaku
heart centred therapy

ph: 021 049 8209

email: tomotakaku@gmail.com

www.heartcentredtherapy.co.nz



ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ専門店

violins, violas and cellos for all players

*Antonio
Strings*

**オセアニア随一の在庫と
確かな技術**

各サイズ(3歳~)初級から演奏家向けまで
取り揃えております。

お気軽にお問い合わせください。

Suite 6,
Regent Court
75 Gloucester Street
Christchurch, 8013
Ph: 377 8813
Email: info@antoniostrings.com

www.antoniostrings.com



移転しました！

62 Riccarton Rd (KFCの向かい)
TEL: 03-341-9192 // 03-341-0114
EMAIL: satomi.joyce@gmail.com

CHCIにて15年の歴史ある旅行会社です。

- ・NZ内最安各種格安航空券 (他社より安く致します)
- ・Australia, South Pacific, Fiji等のパッケージ
- ・NZ国内宿泊、バス等の手配
- ・JAPAN RAIL PASSの手配
- ・呼び寄せ航空券
- ・ヨーロッパ、アジア、アメリカ行き航空券
- ・周遊航空券 など

エリア内の駐車場ご利用下さい。 その他、詳細などSATOMIまでお気軽にお問い合わせ下さい。



クライストチャーチ唯一の、日本人のためのキリスト教会

ジャパニーズ クリスマン フェロウシップ
Japanese Christian Fellowship

牧師：渋沢憲一・彩子 (電話：03-385-3525)

*クリスマンでない方でも、どなたでも心から歓迎いたします！

Colombo St. と Moorhouse Ave. の角、PAK'nSAVE の隣(South City C3教会内)にあります。

礼拝は、毎週日曜日午後2時半～4時 礼拝後にはアフタヌーン・ティーがあります。

ほかにも、無料英会話クラスや、夕食付きの聖書入門コースなど、様々なプログラムがあります。

詳しくはホームページ[www.jcf.org.nz]をご覧ください！！

JAPAN LANGUAGE SERVICES — 通訳・翻訳



司法、医療、社会福祉、移民局、ビジネス、視察、その他言葉のサポートを必要とする生活全般にわたる場面での通訳、翻訳サービス。

移民局提出書類の翻訳受け付けています

お気軽にお問い合わせください。

■ 基尾浩美 ■

通訳資格保持、NZ 通訳通訳者協会付属

電話：03 382 9916, 021 117 2472, Eメール: hiromijino@xtra.co.nz

建築のご相談 承ります。



日本とNZで経験20年以上のLicensed Builderです。(スウェーデンハウスで8年間従事)

新築、増・改築、修繕、店舗新・改装、和室、造り付家具など、

お問い合わせは、日本語 or 英語で、Suleyman (スレイマン) まで。

新築/増・改築/修繕/店舗新・改装/デッキ、フェンス/階段、フローリング/和室/注文・造り付家具/その他ご相談など

TORYO HOUSE Ltd Ph: 348-0377 Mob: 027-364-8464 E mail: toryo@xtra.co.nz



Enhance your
beauty with Noriyo.

ご予約状況は  Find us on Facebook



日本人会割引初回10%OFF

安心の技術と日本製品使用。
15年の経験とセンス。
貴方を美しく演出します。

Hair Designer / Stylist

Noriyo Epps

Natural Attraction

木曜日 12pm - 8pm Cut \$40~60
土曜日 10am - 5pm Perm \$100~
Appointment only Color \$70~

Ph 03 348 0444

本格的
日本式
マツサージ

身体の疲れ、痛み、
ちょっと調子が悪いな
と思ったら…

あなたの骨の **ゆがみ** チェックしてみませんか？



小野整体スポーツクリニック
23 Riegler Place Belfast
Tel: (03) 343-0904 (予約制)
E-mail: nzseitai@gmail.com



cocoro

こころ日本鍼灸クリニック

はり | お灸 | 経絡指圧 | 吸玉 | 音叉療法

腰痛、肩凝り、めまい、更年期障害、心身症
不眠、頭痛、月経不順、生理痛、花粉症、蓄膿
動悸、息切、甲状腺、糖尿病、高血圧、冷え性
関節炎、眼精疲労、消化器系疾患、泌尿器系 etc

*ACCによる五十肩、ぎっくり腰、坐骨神経痛
腱鞘炎、テニス肘、打撲、捻挫、むちうち
骨折、火傷等は無料で治療を承っています。

鍼灸師 Reiko Ohara

10 Mermaid Place, Southshore
cocoro@xtra.co.nz
027-350-9101(text only)

お気軽にお問い合わせください。

指圧馬鹿

指圧マッサージ
サービス

60分 \$50

90分 \$70

15年以上の経験を持つ
セラピストがアイラムと
ウールストンのクリニック
にて施術致します。

Press Quality LTD

水口 一嘉

021-027-83826

m_kazuyoshi2005@yahoo.co.jp

カンタベリー日本人会

協賛会員一覧 (2018年7月31日現在)

業種	協賛会員	特典・電話	連絡先 (Eメール・Webサイト)
印刷	Copycat Service Centre Ltd	電話 352-2540	soo@copycat.co.nz www.copycat.co.nz
飲食	Kinji Japanese Restaurant	電話 359-4697	info@kinjirestaurant.com www.kinjirestaurant.com
	PURPLE DRAGON		info@purpledragon.co.nz www.purpledragon.co.nz
	JAPANZ BAKERY	電話 943-4066	japanzbakery@gmail.com
	湖畔レストラン(テカボ湖)	会員の方は飲食代10%OFF 電話 03-680-6688	kohan@xtra.co.nz www.kohannz.com
	Caffe Piccolo	30c off from any hot drinks	毎週日曜日に理科トナマーケットで営業
会計	SHS Tax Accounting Limited	電話 351-6949	minor@shs.org.nz www.shs.org.nz
楽器	Antonio Strings Limited	電話 377-8813	info@antoniostrings.com antoniostrings.com
教育	Terra寺子屋塾	入会金無料	nz.terakoya.juku@gmail.com www.nz-terakoya-juku.com
教会	Japanese Christian Fellowship	電話 385-3525	ken_shibu@xtra.co.nz www.jcf.org.nz
健康	こころ日本鍼灸クリニック	挫折、打撲、骨折等のACCによる治療は無料で承っています 電話 027-350-9101 (Txt only)	cocoro@xtra.co.nz
	指圧馬鹿	電話 021-0278-3826	m_kazuyoshi2005@yahoo.co.jp
	Ono Seitai Sports Clinic	電話 343-0904	nzseitai@gmail.com
建築	Toryo House Ltd	日本語での建築のご相談を無料で承ります 電話 027-364-8464	toryo@xtra.co.nz
コンピューター	IT Pro NZ	コンピューター、スマートフォンの使い方も指導いたします 電話 0278-111-694	info@itpronz.com www.itpronz.com
自動車	New Zealand Classic	電話 377-2306	info@nz-classic.com http://nz-classic.com/
食品	Kisco Foods International Ltd		tatsumi@kiscofoods.co.jp kisco-inter@co.nz
セラピー	CocoroNZ	電話 343-3829	rumi906@hotmail.com http://cocoronz.jimdo.com/
	ハートセンターセラピー	電話 021-049-8209	tomotakaku@gmail.com www.heartcentredtherapy.co.nz
通訳	Japan Language Services	電話 021-117-2472	hiromijino@xtra.co.nz
美容	Natural Attraction	初回ご来店のお客様10%OFF 電話 027-331-9395	norioy911@hotmail.com www.facebook.com/norioatnaturalattraction
不動産	Ray White	不動産売買に関する情報を無料で提供いたします 電話 342-5577	kazu.shimazaki@raywhite.com http://www.kzjirealestate.com
	Harcourts/Holmwood Real Estate Ltd	不動産売買相談、不動産査定を無料でいたします 電話 355-6677	ryonz@xtra.co.nz www.ryonz.com
不動産投資	TJK NZ LTD	電話 021-416-357	takarhiro@tjk-nz.com
法律	Currie Lawyers Limited	ご遺言を無料で作成いたします 電話 348-8823	michiko.takaoka@currielawyers.co.nz www.currielawyers.co.nz
	Kannagara Thomson	電話 903-0108(日本語直通)	hiromi.jin'o@ktlaw.co.nz www.ktlaw.co.nz
保険	AIA FSN	見積もり、見直しなど無料で 電話 0800-664-882	naoto.nitta@aiafsn.com http://aiafsn.com
留学	JTC New Zealand	電話 343-5005	chc@jtc.co.nz www.jtc.co.nz
旅行	NEW AVONHEAD TRAVEL	電話 341-9192	newavonhead@xtra.co.nz

本誌広告掲載 料金のご案内

●通常会員の広告価格 (会費\$30)

掲載一回につき
Full size...\$100
1/2 size...\$50
1/4 size...\$25

●協賛会員 (会費\$100)

特典として無料で広告を掲載いたします。
以下の方法からお選びいただけます。
Full sizeを年度内に1回
1/2 sizeを年度内に2回以内
1/4 sizeを年度内に4回以内

●非会員の広告価格

掲載一回につき
Full size...\$200
1/2 size...\$100
1/4 size...\$50

入会条件や広告の入稿条件につきましては
メールでお問い合わせください。

メール: info@jsc.org.nz

H I
R O
G A
R I

JAPANZ



BAKERY

South City Centre 内
555 Colombo Street, Christchurch
943-4066

copycat
service centre
www.copycat.co.nz

shop1, Northlands Mall
(at entrance near Hoyts)
Papanui, Christchurch
Ph: (03) 352 2540
Email: info@copycat.co.nz



Terra寺子屋塾は、こんな悩みを持った方のための塾です。



Terra寺子屋塾

- ✓ 自分のペースで学ばせたい
- ✓ ベテランプロの指導を受けたい
- ✓ アットホームな環境で学ばせたい
- ✓ 無料教育相談で、子育ての不安をなくしたい
- ✓ 日本語だけでなく、しっかりした基礎学力も身につけさせたい
- ✓ 自ら自主的に学ぶ子供に育てたい
- ✓ 海外子女専用カリキュラムで、生きた日本語を学ばせたい

- 対象年齢: 5才~18才
- 指導科目:
国語(日本語)・算数()・理科・社会
日本語能力検定試験
現地校のMath & Science
- 開講日時: 毎週火曜日・水曜日
16:00-18:00
- 場所: 290 Ferry Road

担当: 山口(塾長)
TEL: 027 513 3430 (日本語テキスト可)
Mail: nz.terakoya.juku@gmail.com
Web: www.nz-terakoya-juku.com

お問い合わせは
お気軽にどうぞ。

無料体験授業は随時受け付けております。
入塾1カ月以内の退会時には、100%返金保証。
ターム途中入会の日割り割引、兄弟割引有。

前任理事のつぶやき

ひろがり

「ひろがり」100号いかがでしたでしょうか。ようやく発行再開に漕ぎつけることができました。会報の発行が滞ってしまい、ご迷惑やご心配をおかけしましたことを前理事として改めてお詫びします。次の会報は3ヶ月後に発行予定です。

遠く母国を離れて、ニュージーランドで暮らしている私たちはそれぞれに色々な思いや夢があるのではないのでしょうか。同じ日本語を話し、文化背景をもつ、お互いのことを理解し、助け合う。お互いを思いやる気持ちを忘れずに生活していきたいです。

(Peace)

2013年から理事を5年間務めさせていただきましたが、このたび退任することになりました。理事になった翌月に誕生した次男も今年で5歳になり学校へ通います。本当に月日の経つのは早いです。これからは皆さんと一緒に陰ながら日本人会に力を貸していければと考えています。少しずつでも集まれば大きな力になります！

(元気玉)

二文化制度のNZは、現在150以上の民族が暮らす多民族社会でもあります。Christchurch では、アジア人の人口、堂々の第3位！そんな中で日本人の顔である日本人会がなくなってしまうのは、ちょっと寂しいですね。いろんなアイデアを取り入れて、日本人会をぜひ続けていってください。応援しています。

(健忘証子)

2000年から18年間いろいろ関わってきました。ひろがり発行、パンフレット作成、メール通信配信、運動会、補習校の校歌作曲、校長先生の派遣依頼、ガレッジセール、サンタパレード、お花見会、NZ勉強会、座談会、そして、ジャパンデー、その間にオフィスの開設、その引越し、地震の発生での掲示板立ち上げ、ひろがり地震版発行、慰霊式典の参

加、警察や公的機関の集まりに参加したり等々・・・やり残したことはありません、すべていい思い出です。そして、皇太子さまとも会うことができました。日本に住んでいたら一切かかわることができなかったことだと思います。ぜひ会員の皆さんもコミットしていただければご自身のプラスになってもマイナスになることはないと思います。

(ギターキッズ)

前年度に長女が補習校幼稚園部に入園し、初めて日本人会に入り、いきなり理事に就任してしまいました。会計のお仕事をお手伝いするというので、名前だけの理事でしたが、会長の松崎さんをはじめとする理事の方々の、日本人会をなくしてはならないという思いを十分に感じる事が出来る一年でした。

(三人娘)

「日本人会の理事にならん？」と声をかけられたのは、移住して間もなく仕事も形になってなかった頃。「新参者だし、肩書きないし、できません」と尻込みすると、「そんな関係ない、やる気あるかどうかや」と言われて関わるようになり、その縁で補習校にも関わり、足掛け18年。在任中のご支援に感謝いたします。昨年の中選挙では、世代交代の力を目の当たりにしました。今、日本人会は5人しかいない新理事体制のもとで活気が出ています。この活気に呼応して日本人会を盛り立ててください。お願いします。

(Hopeこと松崎一広)

日本人会の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(青雲志)